

報告事項

今後の生涯学習振興施策及びとっとり県民カレッジのあり方（答申）について

今後の生涯学習振興施策及びとっとり県民カレッジのあり方（答申）について別紙のとおり報告
します。

平成27年11月20日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

今後の生涯学習振興施策及びとっとり県民カレッジのあり方（答申）について

社会教育課

平成27年2月3日に県教育審議会に行った諮問に対し、県教育審議会生涯学習分科会において審議がなされ、平成27年11月17日、別添のとおり答申を受けた。

諮問内容

- ・生涯学習振興における行政（県）の役割
- ・とっとり県民カレッジの方向性

1 経過

- H27.2.3 第1回審議会開催（諮問、県施策の状況説明、意見交換）
- H27.3.4 第2回審議会開催（主に県の役割について議論）
- H27.5.25 第3回審議会開催（答申骨子案について議論）
- H27.9.1 第4回審議会開催（答申骨子案について議論）
- H27.11.12 第5回審議会開催（答申とりまとめ）
- H27.11.17 答申

2 答申の概要

（1）鳥取県のこれまでの生涯学習振興施策の現状と課題を検証

現状 開設から20年を経過した「未来をひらく鳥取学」を中心とした「とっとり県民カレッジ」を通じた学習機会の提供

⇒入学者累計7,800名

課題 学んだことを地域づくりに活かす仕組みの弱さ

生涯学習の意義（学びの成果を還元する）を県民に浸透させるための行政の取組不足、住民参画を促す取組不十分

（2）今後、鳥取県が目指すべき生涯学習

これまでの生涯学習（自己実現、生きがいづくり）をさらに発展させ、学んだ成果を地域づくりに活かし、それにより地域とのつながりをもつ生涯学習へ
⇒学びと行動を繰り返すことで、県民が地域課題に対応する力をつけ、多様な担い手が活躍することのできる社会を構築する。

(3) 今後、県が検討すべき具体的施策

市町村等、各生涯学習推進主体の支援に力を入れていくべき

- 県民ニーズ等を反映した学習機会とその成果を活かすことができる環境づくり（県民カレッジのあり方の見直し）
⇒新たな学びのツールの活用、ワークライフバランス等の観点も
- まちづくりの中心となるような人材の育成、社会教育主事の活用等、生涯学習を支える人づくり（人材育成）
- 情報を県民に届けるための工夫（県民参画を促す仕組みの検討）

(4) 各主体に期待する役割

よりよい鳥取県をつくっていくためには行政だけでなく、県民一人ひとり、各生涯学習推進主体の取組も必要

市町村、社会教育施設、学校等に期待する役割も記載。

3 今後の予定

関係機関との連携・調整を図り、答申の趣旨を活かしながら生涯学習振興施策を推進。

- ・県民カレッジのあり方については平成28年度から段階的に見直し予定
- ・その他各種施策については平成28年度当初予算でも要求予定

4 参考（第5回教育審議会生涯学習分科会(H27.11.12)概要（主な意見））

- ・今後、人口が減少し、税収が減る中で、「自分たちから進んで地域課題に取り組む」という気持ちを持ってもらうことは大事。
- ・学習成果を地域に還元する意味は何なのか。「最終的には自分に影響してくるから」という視点でもよいと思う。
- ・シニアバンク等、既存制度を活用し、地域活動、社会参加を広げていくべき。
- ・企業では、求人広告を出して人を雇ってもすぐに辞めてしまうと聞く。原因を探ると、社内に人を育てる人材がないから。企業でもそういう状況、地域ではさらに難しい。
- ・現代社会の傾向として、利己的、自分のことしか考えられない人が増えていると思う。そういう中で学校でもいろいろな取組をしている。その取組をとおして、「学校を良くしたい」と思う子どもも育ってきている。勉強ではない部分での子どもの育ちも大事にしたい。
- ・生涯学習は大人のもの、というイメージになりがちだが、将来を担うのは子どもたち。

子どもたちに生涯学習に関わってもらえるよう、地域で子どもを巻き込んでほしい。
その子どもたちが将来、自分だけでなく、地域も大事にする人に育ってほしい。

- ・この答申が市町村の現場にも届き、趣旨が理解され、実際の取組に反映されることを期待する。県も主体性も発揮してほしい。
- ・答申が示され、各主体が取り組んでいっても必ず結果に繋がるものではないと思う。すぐに結果が見えるものではない。一方で成果を求められるのも事実。結果だけを評価するのも一つの手法だが、そのプロセスの評価も大事では。

〈参考：委員名簿〉

氏名	所属・職名等	備考
伊澤 悦子	日本ボーイスカウト鳥取連盟鳥取2団ボーイ隊隊長	
市橋 幸代	湯梨浜子育て支援課子育て支援員	
大堀 貴士	NPO 法人ハーモニーカレッジ理事長	(欠)
岡崎 誠	鳥取環境大学教授	
木村 京子	鳥取市立美保小学校長	
近藤 剛	鳥取短期大学幼児教育保育学科准教授	会長
田中 朝子	鳥取県連合婦人会長	
徳吉 雅人	倉吉市明倫公民館長	副会長
中村 美香	鳥取県連合青年団長	(欠)
長尾 志保	鳥取県PTA協議会ブロック理事	
福井 伸一郎	倉吉市教育委員会教育長	(欠)
森岡 祐美子	株式会社山陰放送ラジオ総局放送制作部	
山本 幸子	鳥取市社会福祉審議会委員	